# 第8回中央執行委員会開催

## 既存の運動方針を受け継ぎ、働き方改革に抗する

過の際の参議院附帯決議を活 をおこなってはどうか。就業 スローガン (案) について みが必要ではないか、 か、三六協定を活かす取り組 るかどうか確認してはどう (則に労働協約が反映されて スローガン 意見も出された。 していくべきではないか等 (案) について

は全国港湾と力を合わせてい 読き取り組んで行きたい。 |挙闘争にも力を入れたい。 、産別最賃問題、港湾年金の 湾労働法の全港全職種適 を入れていきたい。また、 年でもあるので増税反対に い。時間外分母や週休2日 一地方選、 労災企業補償等について 指定事業体問題等々引 来年は消費税再増税 参議院選などの については

昨年を大幅に上回る勢い 夏季一時金闘争

各職場の就業規則の点検運動

てしまったが、この機会に 働き方改革関連法案が成立

夏季一時金闘争は、関東地方では昨年を25,506円、関西地方では昨年 を28,368円上回る回答を得た。四国地方、沖縄地方でも昨年を1万円以 上上回る回答を得た。このまま妥結が進めば、昨年を大幅に上回る勢い だが、東北地方の交渉が長期化し、回答の示されない分会もでている。 本来なら、もう少し回答を待ちたいところではあるが、定期大会議案日 程の関係上、7月12日をもって18夏季一時金闘争の集計は打ち切りとせ ざるを得ない。その点、ご了承頂きたい。

7月12日現在、速報分会では、141速報分会中133分会(94%)に有額 回答が示され、速報分会の回答額平均は491,528円、妥結した分会は123 分会で妥結額平均は494,735円となった。速報分会で見ても、昨年実績 を12,490円上回る結果となった。

全闘争分会では、324分会中264分会(81%)に有額回答が示され、闘 争分会の回答額平均は468,034円(1.66ヶ月)となった。昨年同時期と 比べても4,077円上回っている。回答を受けた分会のうち250分会(95%) が妥結しており、妥結額平均は468,551円となった。全闘争分会で見て も、昨年実績を9,435円上回る結果となった。

## 地方別獲得表 (全体)

2018:夏季

2018/07/12 現在

2010:夏字				対前年比		
地方	今年回答額	月	前年妥結額	月	額	- 足
北海道 6 大港 地方港 (合計)	- 417, 595 417, 595	- 1. 53 1. 53	415, 516 415, 516	- 1. 55 1. 55	2, 079 2, 079	-0. 03 -0. 03
東北 6 大港 地方港 (合計)	537, 624 537, 624	_ 1. 95 1. 95	545, 472 545, 472	2. 02 2. 02	-7, 848 -7, 848	-0. 07 -0. 07
日本海 6 大港 地方港 (合計)	- 458, 687 458, 687	- 1. 78 1. 78	- 460, 764 460, 764	- 1. 76 1. 76	- -2, 077 -2, 077	- 0. 01 0. 01
関東 6 大港 地方港 (合計)	497, 282 644, 940 540, 289	1. 45 2. 86 1. 61	457, 047 646, 656 514, 783	1. 34 2. 85 1. 54	40, 235 -1, 716 25, 506	0. 11 0. 02 0. 07
東海 6 大港 地方港 (合計)	386, 241 551, 473 531, 766	1. 44 1. 67 1. 64	380, 563 546, 181 526, 403	1. 43 1. 66 1. 63	5, 678 5, 292 5, 363	0. 01 0. 01 0. 01
関西 6 大港 地方港 (合計)	463, 278 342, 114 457, 999	1. 36 0. 96 1. 34	431, 573 395, 804 429, 631	1. 28 1. 12 1. 28	31, 705 -53, 690 28, 368	0. 08 -0. 16 0. 07
四国 6 大港 地方港 (合計)	317, 493 317, 493	- 1. 22 1. 22	- 306, 190 306, 190	- 1. 20 1. 20	- 11, 303 11, 303	- 0. 03 0. 03
九州 6 大港 地方港 (合計)	446, 480 396, 171 415, 283	1. 32 1. 50 1. 42	445, 163 391, 209 411, 674	1. 33 1. 52 1. 44	1, 317 4, 962 3, 609	-0. 01 -0. 02 -0. 02
沖縄 6 大港 地方港 (合計)	- 333, 312 333, 312	- 1. 71 1. 71	- 321, 118 321, 118	- 1. 73 1. 73	- 12, 194 12, 194	-0. 02 -0. 02
全国合計 6 大港 地方港 (合計)	459, 474 470, 218 468, 034	1. 37 1. 76 1. 66	434, 305 471, 282 463, 957	1. 31 1. 78 1. 66	25, 169 -1, 064 4, 077	0. 06 -0. 02 0. 00

|〇|八年・|九年運動方針 七年度決算および剰余金処分 案などについて検討し確認がなされた。掲載スペースに限りがあるので、主な点のみ以下に報告する. 七月十二日、 二〇一七年度の主なたたかいの経過と総括 士昌( 東京・蒲田において第八回中央執行委員会を開催した。 は二〇一六・一七年度のもの (案)、二〇一八年度一般会計予算(案)、 (案)、二〇一八年・一九年運動方針 カンパ会計に繰入としたい。 秋年末闘争方針 中央執行委員会では定期全国大会を前 スローガン(案)、二〇 「全港湾会館」 スト権 について、 大会運営



東京都大田区蒲田

5の10の2

全日本港湾労

働組合機関紙 (毎月1日発行)

部20円 (組合員の購読料は) 組合費の中に含む

発行責任者

いては一、二七〇円で据え置 ついては引き続き、緊縮財政 については来年度も 二〇一八年度予算 大田区大森 (案) に 例年通りとし、要求額は昨年 朽化してきているので、 〇一八年秋年末闘 冬季一時金闘争については しながら今後の対応を決め ムした方がよいか?等調 争 リフ 方

定年延長など力を入れていき

通りの執行となった。

九年春闘闘争費

一八年度

決算については、ほぼ予算

基調を継承していく。働き

二〇一七年度決算、二〇

年度予算

(**案**)

案) について

をそのまま引き継ぎ提案した

央執行委員会を十月上旬に開 同季の率・ 春闘の準備として、 額以上を地方ごと 第  $\overline{\bigcirc}$ 回 催 について検討していくことと してたたかう体制づくり 春闘継続課題、 アライアンス再 要求額、 編

> についてはクールビズを可 の大会開催であるため、服 く。また、南国の暑い時期

ては地方・支部の判断に委ね

B等の方々の参加希望につい ない等の制約があるため、〇

か方議 議 日 関する大会決議も検討して 全港湾の第八九回定期全国 ート・ナハで開催する。代 選、辺野古新基地建設反対 りの来賓を検討中。沖縄知 長団は関東地方、東海地 員については総勢八九名。 会は、九月十二日、十三 来賓については地元沖縄 沖縄かりゆしアーバンリ る会が開催されることとなっ にて、故・元木末一氏をおく 加する。開催規模は一五〇名 た。主催は全国港湾。全港湾 から二〇〇名程度。全国港湾 からは中央執行委員全員が参 もあり十五時には閉会して大 の大会前日の開催ということ 八日、マリナーズコート東京 会会場へ移動しなければなら

て 第 八九回定期全国大会につい 日を予定するとしている。 、全港湾は一月三十一日、二 中央委員会の日程について 日、全国港湾は二月六日、

故・元木末一氏をおくる会 全国港湾大会前日の九月十

程でシーパレスにおいて開催 会は九月十九日、二十日の日 全国港湾の第一一回定期大

全国港湾定期大会

にいとした。

交流集会が愛知県豊橋市にあ ました。鈴木勝也中執からは 八月二十三日から三日間に

きたことは、これからの第 りました。諸見書記次長から となく続けてほしいと話があ についてこれから先たくさん 会の挨拶の中で、平和運動 活動があるがあきらめるこ いってもらいたいという話が ただきました。各地方の将来 出来たのかについて教えてい ださいました。限られた時間 組合の大切さ、なぜ青年部が 年私たち青年部が集約した議 ど、青年部として横のつなが

歩になったのではないかとい う話がありました。 二日目の午前中は鈴木誠一

あったので、私自身もっと意

動にいかしていきたいと思い 欲的に勉強し、これからの活

分散会については五班編成

がら活動することが一番大事 発表では、各支部、各地方で 論をしました。分散会まとめ 部のあり方、今後の活動」、 コミュニケーションを図りな

この時を!全港湾青年部」が を担う仲間と共に二度とない スローガン選考では「時代

となりましたが、毎回参加し 最後に今年で四回目の参加 くてはいけないのか?」とい の中で、「なぜ歴史を学ばな 最終日は松本委員長の講義

という言葉を頂き、青年部と して何事にも挑戦していきた いでいかなくてはならない ために現代の私たちが引き継 うことは同じ失敗をしないと う話の中、「歴史を学ぶとい

て思うことは、

に素晴らしい労働組合だとい うことです。全国の仲間と楽 い三日間を過ごす事が出来

武田陽介

ん本当にありがとうございま (東北地方青年婦人部



全港湾は本当

部始め、運営に携わった皆さ

「三本締め」で楽しい宴会の幕を閉じました。(諸見力)

集会の後は必ずデモ行進をお 単組からよく褒められます。 ますが、市民集会を開催する 見せることです。余談になり

と、全港湾の青年部は、他の

全倉運70周年を扱う!!

7月10日、全倉運(全日本倉庫運輸労働組合同盟)70周年祝賀会

が大田区蒲田プラザペアで開催されました。主催者挨拶で柳野委員 長より、全倉運の歴史や経過、更なる飛躍をと力強く語られました。 続けて、来賓を代表して全国港湾連合会糸谷委員長が挨拶を行いま

した。全倉運過去の闘い、今日までの取り組み、昨今の日港協労務 委員長は歴代元請け倉庫から選出されているなど、全倉運と港湾産

乾杯は、全倉運出身で大港労協の三宅事務局長より、自身の経験

総数は80名ほどで、その内、全倉運組合員が50名余りでアットホ

ムな雰囲気でした。祝賀会の締めは、三井埠頭倉庫組合の椿委員長

全日本倉庫運輸労働組合同盟 **70周年記念祝賀会** 



から福島県いわき市いわき駅 八月二十七日 ・憲法を守ろう集会を、 くの公園で憲法九条改悪反

民主」「社民党」「国民民主 労連」「小名浜地区労」「いわ 党」「共産党」から挨拶を頂 きました。 ました。来賓としては「立憲 約二五〇名の参加者で開催し き地区港運」の四者共闘で、 「いわき地方労」「いわき市

連法案の採決が迫っていまし が行われ、森友・加計学園問 ったことから、集会の趣旨と なりかねないという状況下だ た。労働基準法が、ざる法に 題で盛り上がりつつ働き方関 この日は参議院で党首討論

で二重に盛り上がりました。 共闘をしていくことを、若い は違う意味でも「安倍やめろ」 世代の組合員に先頭に立って 私達の運動は政党を超えて

集会を通じてデモ統制と、シ 名浜支部青年部を見ながら、 ュプレヒコールを担当する小 またお願いねと言われます。 導する姿は、デモ参加者から ラブルもなく安全にデモを誘 浜支部青年部が完全に仕切っ までの細い道路は全港湾小名 察が誘導しますが、いわき駅 ています。そのおかげで、ト こない、国道片道三車線は警 (東北地本書記長 矢代正人)

別の関わり、今後更なる連帯をと挨拶されました。

(合理化闘争)を語りながら、盛大にスタートしました。

半の祝賀会。全港湾は常任全員でお祝いに駆けつけま